

◆【麻しんの発生件数の把握について】

今週の麻しん全数発生報告は7例です。5月25日より始まった市内全医療機関からの麻しん発生件数(成人麻しんを含む)については、今週より別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

◆ 今週のコメント

- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は6.59で、過去5年平均値(5.59)を上回っています。年齢階級別にみると、1歳(13.3%)が最も多く、1歳から4歳で45.6%を占めています。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.24で、本年度で最も多くなっています。連休を含む第18週(0.37)を底に増加傾向であり、過去5年平均値(0.83)を上回っています。年齢階級別にみると、4歳(21.6%)が最も多くなっています。春季に多く、学校、家族などの集団での発生が多いといわれていますので、ご注意ください。
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT1VT2)の報告が1例あり、本年度の累積報告数は11例です。なお、全国の過去5年間の平均値をみると、夏季にピークがみられ、今後注意が必要です。

◆ 今週のトピックス:〈百日咳〉

- ・ 百日咳の報告が1例(10～14歳)です。本年度の累積報告数は18例と、過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期(4～12例)と比較して最も多くなっています。詳細はトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 6例(肺結核 5例, その他 1例)(第18・19週追加分含む)
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT1VT2) 1例
- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例
- ・ 五類:ウイルス性肝炎(B型) 1例(第19週追加分)
- ・ 五類:急性脳炎(病原体不明) 1例(第21週追加分)

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.59	270
	② 水痘	1.66	68
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.24	51
	④ 流行性耳下腺炎	0.51	21
	⑤ 突発性発しん	0.41	17
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

病原体情報

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)
インフルエンザウイルス B型(1)	不明(第21週)	アデノウイルス40/41型(1)	感染性胃腸炎(第22週)
A群ロタウイルス(1)	感染性胃腸炎(第21週)		

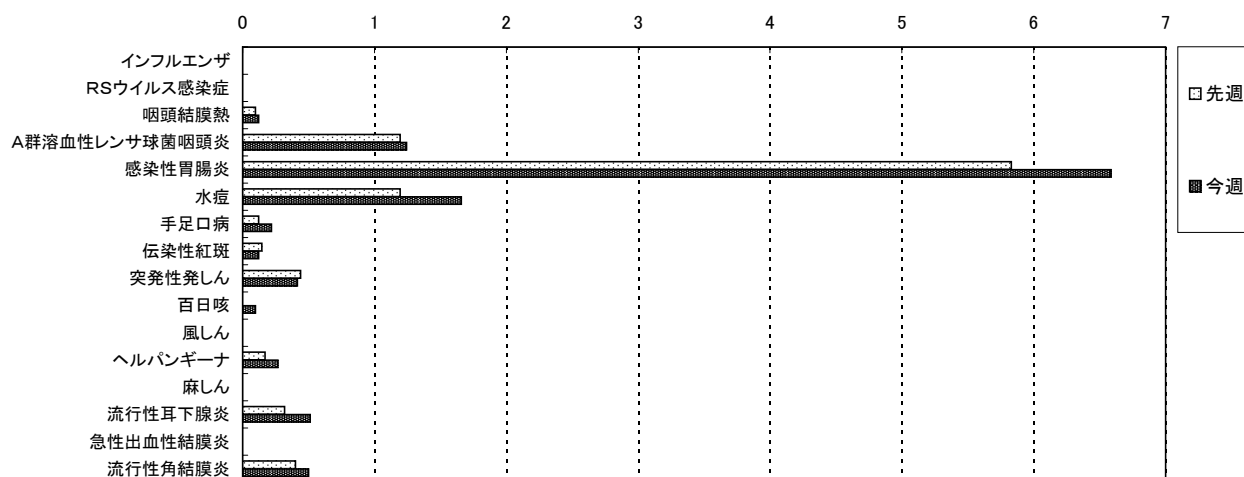
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈百日咳〉 / 京都市麻しん全数発生報告
付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

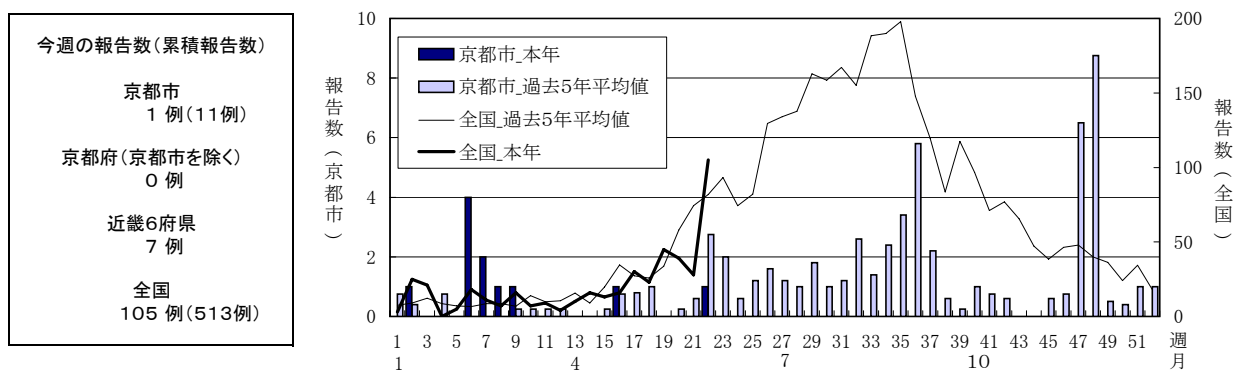
(注) 京都市のデータは平成19年6月11日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
病原体情報は病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第22週)と先週(第21週)の定点当たり報告数の比較

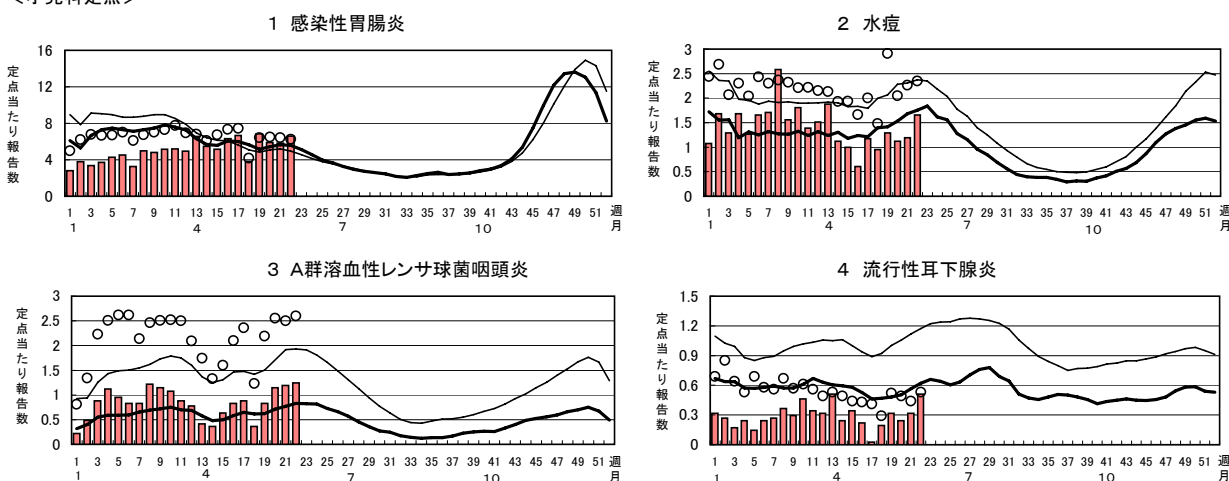


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

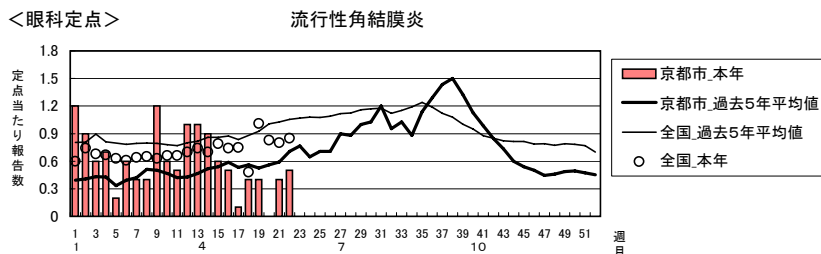


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第22週)のトピックス:〈百日咳〉

百日咳の報告が1例(10～14歳)あります。

本市の1983年以降の定点当たり報告数の推移をみると、ワクチンの進歩とともに減少しており、感染症法が施行となった1999年以降、年間報告数は50例以下で推移していますが、本年の累積報告数は18例と、過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期(4～12例)と比較して最も多くなっています。

2000年～2007年の第22週までの年齢階級別定点当たり報告数をみると、各年齢階級に報告があり、「～11ヶ月」、「～5ヶ月」、「1歳」、「10歳以上」の順に多くなっています。乳幼児を中心に報告がありますが、今週のように10歳以上の比較的年長者の報告もあります。

特に新生児、乳児では、母親からの移行免疫が有効に働かないため、重篤となりやすく、肺炎や脳症を併発することもあります。DPTワクチン(沈降精製百日咳ジフテリア破傷風混合ワクチン)接種を生後3ヶ月から接種できますので、できるだけ早期に、受けることが勧められます。

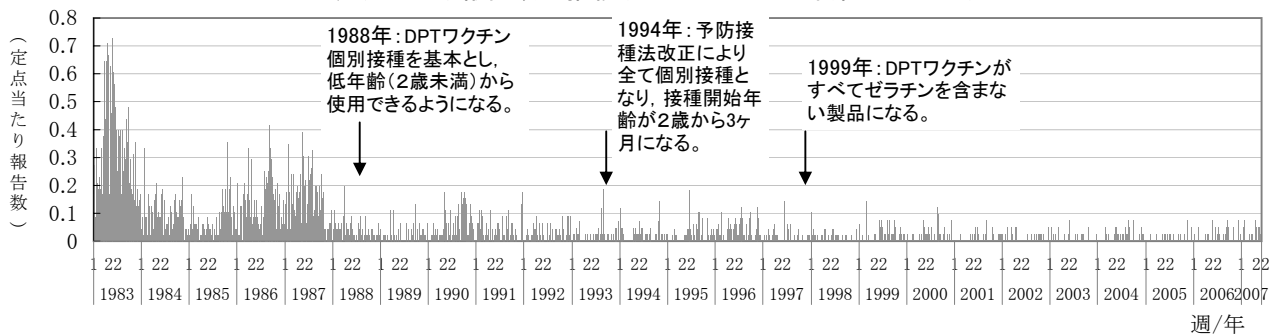
また、大人の百日咳は重症になることはまれですが、香川大学からは、本年、成人百日咳の大規模集団感染の報告もあり気付かずに感染が広がる可能性もありますので、ご注意ください。

年別定点当たり報告数

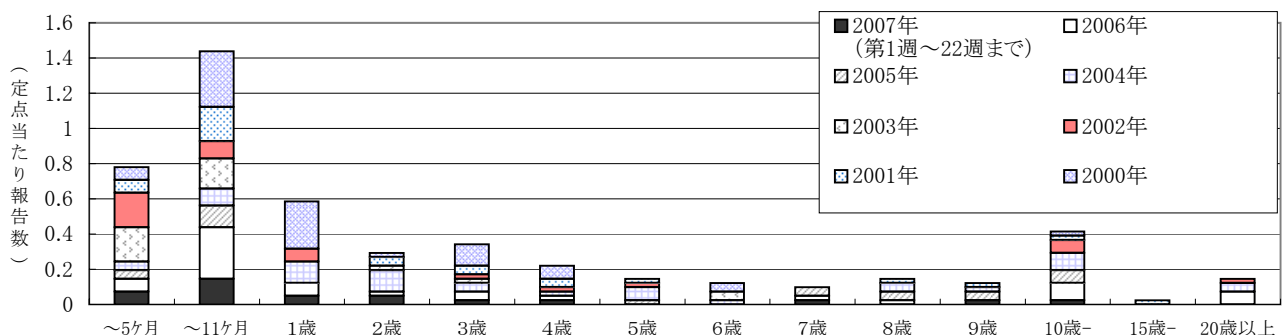
		京都市				(参考) 全国
		報告数		定点当たり報告数		
		年間	累積報告数 (第1～22週)	年間	累積報告数 (第1～22週)	
2000	H12	39	12	0.95	0.29	1.28
2001	H13	22	4	0.54	0.10	0.58
2002	H14	22	11	0.54	0.27	0.48
2003	H15	19	11	0.46	0.27	0.51
2004	H16	32	10	0.78	0.24	0.73
2005	H17	17	5	0.41	0.12	0.44
2006	H18	31	9	0.76	0.22	0.50
2007	H19	—	18	—	0.44	—

1981年：沈降精製DPTワクチンへ切り替え、接種開始年齢は2歳以上。

定点当たり報告数の推移(1983～2007年第22週まで)



年齢階級別定点当たり報告数(2000～2007年第22週まで)



京都市麻しん全数発生報告

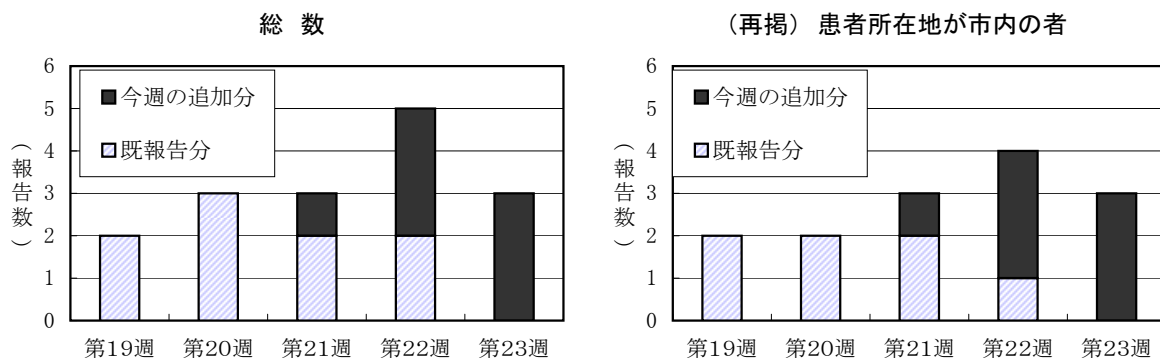
京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む)の報告数を掲載しています。5月25日から6月10日までの報告を初診週別に集計しています。
なお、定点からの報告はありませんでした。

1 推移

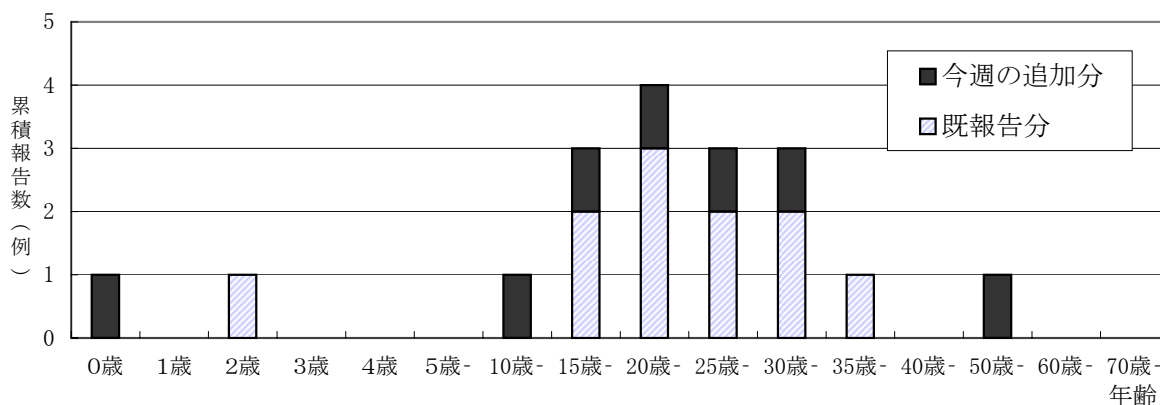
	初診週	第19週	第20週	第21週	第22週	第23週	累積報告数 (第17週以降)
今週の追加分		-	-	1	3	3	7
既報告分		2	3	2	2	-	11
合 計		2	3	3	5	3	18

2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (最新5週分)



3 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41, 成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータを、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第22週

疾病,保健所別報告数

平成19年5月28日～平成19年6月3日

データ入手日:平成19年6月11日

	(※) インフル エンザ	RS ウイルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	球A 菌溶 咽頭 炎性 レンサ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	風 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	麻 し ん (※)	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌 性 髄 膜 炎 (※)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 (※)	成 人 麻 し ん
男女合計																					
北	-	-	-	-	16	4	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-					
上京	-	-	-	-	3	9	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-					
左京	-	-	-	2	17	6	-	-	2		-	-	-	-	-	-					
中京	-	-	-	4	15	5	3	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	5	-	1							
山科	-	-	-	2	16	5	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-					
下京	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2							
南	-	-	-	15	36	9	-	-	4	1	-	1	-	1							
右京	-	-	-	-	30	4	1	-	2	-	-	-	-	2	-	3					
伏見	-	-	3	10	48	10	1	3	4	-	-	2	-	4	-	1					
西京	-	-	2	17	58	16	2	1	3	-	-	2	-	4	-	1					
京都市計	-	-	5	51	270	68	9	5	17	1	-	11	-	21	-	5	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※) インフル エンザ	RS ウイルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	球A 菌溶 咽頭 炎性 レンサ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	風 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	麻 し ん (※)	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌 性 髄 膜 炎 (※)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 (※)	成 人 麻 し ん
男女合計																					
北	-	-	-	-	4.00	1.00	-	-	0.25	-	-	-	-	0.25	-	-					
上京	-	-	-	-	1.00	3.00	0.33	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-					
左京	-	-	-	0.50	4.25	1.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-					
中京	-	-	-	1.33	5.00	1.67	1.00	-	-	-	-	0.33	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	15.00	-	-	-	-	-	-	2.50	-	0.50							
山科	-	-	-	0.50	4.00	1.25	0.25	0.25	0.25	-	-	-	-	0.25	-	-					
下京	-	-	-	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00							
南	-	-	-	5.00	12.00	3.00	-	-	1.33	0.33	-	0.33	-	0.33							
右京	-	-	-	-	6.00	0.80	0.20	-	0.40	-	-	-	-	0.40	-	3.00					
伏見	-	-	0.43	1.43	6.86	1.43	0.14	0.43	0.57	-	-	0.29	-	0.57	-	0.50					
西京	-	-	0.50	4.25	14.50	4.00	0.50	0.25	0.75	-	-	0.50	-	1.00	-	1.00					
京都市計	-	-	0.12	1.24	6.59	1.66	0.22	0.12	0.41	0.02	-	0.27	-	0.51	-	0.50	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京 都 市 感 染 症 発 生 動 向 調 査 情 報

集計対象:平成19年第22週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年5月28日～平成19年6月3日

データ入手日:平成19年6月11日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳～	1歳 1歳 1歳 5歳～	2歳 2歳 2歳 10歳～	3歳 3歳 3歳 15歳～	4歳 4歳 4歳 20歳～	5歳 5歳 5歳 25歳～	6歳 6歳 6歳 30歳～	7歳 7歳 7歳 35歳～	8歳 8歳 8歳 40歳～	9歳 9歳 9歳 45歳～	10歳～ 10歳～ 10歳～ 50歳～	15歳～ 15歳～ 15歳～ 55歳～	20歳～ 20歳～ 20歳以上 60歳～	30歳～ 30歳～ 30歳～ 65歳～	40歳～ 40歳～ 40歳～ 70歳以上	50歳～ 50歳～ 50歳～ 70歳以上	60歳～ 60歳～ 60歳～ 70歳以上	70歳～ 70歳～ 70歳以上 70歳以上	80歳以上
男女合計																						
インフルエンザ (※)	年齢1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
咽 頭 結 膜 熱		5	–	–	1	1	1	–	1	1	–	–	–	–	–	–	–					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		51	–	–	2	1	5	11	7	4	7	5	3	3	1	2						
感染性胃腸炎		270	4	19	36	23	32	32	20	15	11	15	11	22	2	28						
水 痘		68	4	8	13	4	10	10	9	3	1	4	1	1	–	–						
手 足 口 病		9	–	–	4	1	1	1	–	1	1	–	–	–	–	–						
伝 染 性 紅 斑		5	–	–	–	1	1	2	–	–	–	–	–	–	–	1						
突発性発しん		17	–	13	4	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–						
百 日 咳		1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–						
風 し ん		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–						
ヘルパンギーナ		11	–	2	1	2	–	5	1	–	–	–	–	–	–	–						
麻 し ん (※)		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–						
流行性耳下腺炎		21	–	–	–	1	2	4	2	1	3	3	–	4	1	–						
急性出血性結膜炎		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎		5	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	1	2	1	–	–	–	–
細菌性髄膜炎 (※)		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎 (※)		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
成人麻しん		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを, 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を, クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳～	1歳 1歳 1歳 5歳～	2歳 2歳 2歳 10歳～	3歳 3歳 3歳 15歳～	4歳 4歳 4歳 20歳～	5歳 5歳 5歳 25歳～	6歳 6歳 6歳 30歳～	7歳 7歳 7歳 35歳～	8歳 8歳 8歳 40歳～	9歳 9歳 9歳 45歳～	10歳～ 10歳～ 10歳～ 50歳～	15歳～ 15歳～ 15歳～ 55歳～	20歳～ 20歳～ 20歳以上 60歳～	30歳～ 30歳～ 30歳～ 65歳～	40歳～ 40歳～ 40歳～ 70歳以上	50歳～ 50歳～ 50歳～ 70歳以上	60歳～ 60歳～ 60歳～ 70歳以上	70歳～ 70歳～ 70歳以上 70歳以上	80歳以上
男女合計																						
インフルエンザ (※)	年齢1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
咽 頭 結 膜 熱		0.12	–	–	0.02	0.02	0.02	–	0.02	0.02	–	–	–	–	–	–						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.24	–	–	0.05	0.02	0.12	0.27	0.17	0.10	0.17	0.12	0.07	0.07	0.02	0.05						
感染性胃腸炎		6.59	0.10	0.46	0.88	0.56	0.78	0.78	0.49	0.37	0.27	0.37	0.27	0.54	0.05	0.68						
水 痘		1.66	0.10	0.20	0.32	0.10	0.24	0.24	0.22	0.07	0.02	0.10	0.02	0.02	–	–						
手 足 口 病		0.22	–	–	0.10	0.02	0.02	0.02	–	0.02	0.02	–	–	–	–	–						
伝 染 性 紅 斑		0.12	–	–	–	0.02	0.02	0.05	–	–	–	–	–	–	–	0.02						
突発性発しん		0.41	–	0.32	0.10	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–						
百 日 咳		0.02	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	0.02	–	–						
風 し ん		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–						
ヘルパンギーナ		0.27	–	0.05	0.02	0.05	–	0.12	0.02	–	–	–	–	–	–	–						
麻 し ん (※)		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–						
流行性耳下腺炎		0.51	–	–	–	0.02	0.05	0.10	0.05	0.02	0.07	0.07	–	0.10	0.02	–						
急性出血性結膜炎		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎		0.50	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	0.10	–	0.10	0.20	0.10	–	–	–	–
細菌性髄膜炎 (※)		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎 (※)		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
成人麻しん		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを, 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を, クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第22週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年6月11日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	93	28	14	3	－	－
RSウイルス感染症	－	－	－	－	－	－
咽 頭 結 膜 熱	3	6	5	6	4	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	15	34	47	49	51
感染性胃腸炎	274	157	280	241	239	270
水 痘	48	39	53	46	49	68
手 足 口 病	5	3	5	10	5	9
伝 染 性 紅 斑	7	7	9	12	6	5
突発性発しん	22	7	27	17	18	17
百 日 咳	2	－	2	2	－	1
風 し ん	－	－	－	1	－	－
ヘルパンギーナ	1	2	11	8	7	11
麻 し ん (※)	1	1	－	1	－	－
流行性耳下腺炎	1	8	13	10	13	21
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎	1	4	4	－	4	5
細菌性髄膜炎 (※)	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※)	－	－	－	－	－	－
成人麻しん	－	－	－	－	－	－
合 計	494	277	457	404	394	466

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを, 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を, クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	1.37	0.41	0.21	0.04	－	－
RSウイルス感染症	－	－	－	－	－	－
咽 頭 結 膜 熱	0.07	0.15	0.12	0.15	0.10	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	0.37	0.83	1.15	1.20	1.24
感染性胃腸炎	6.68	3.83	6.83	5.88	5.83	6.59
水 痘	1.17	0.95	1.29	1.12	1.20	1.66
手 足 口 病	0.12	0.07	0.12	0.24	0.12	0.22
伝 染 性 紅 斑	0.17	0.17	0.22	0.29	0.15	0.12
突発性発しん	0.54	0.17	0.66	0.41	0.44	0.41
百 日 咳	0.05	－	0.05	0.05	－	0.02
風 し ん	－	－	－	0.02	－	－
ヘルパンギーナ	0.02	0.05	0.27	0.20	0.17	0.27
麻 し ん (※)	0.02	0.02	－	0.02	－	－
流行性耳下腺炎	0.02	0.20	0.32	0.24	0.32	0.51
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎	0.10	0.40	0.40	－	0.40	0.50
細菌性髄膜炎 (※)	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※)	－	－	－	－	－	－
成人麻しん	－	－	－	－	－	－
合 計	11.22	6.79	11.31	9.82	9.91	11.74

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを, 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を, クラミジア肺炎はオウム病を除く。